

平成27年度 事業報告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

第1 概要

平成27年度の畜産を取り巻く情勢は、長期間にわたる配合飼料価格の高止まりに加え、円安等による生産資材の高騰により、畜産経営に大きな影響を与えてきた。一方、国内経済が緩やかな回復傾向が見られる中、畜産の卸売価格は、各畜種とも高相場を維持しているが、天候や伝染病の影響に加え、飼養頭羽数の減少による生産基盤の脆弱化による要因が大きく、今後も予断を許さない状況となっている。

また、昨年10月に大筋合意されたTPP（環太平洋経済連携協定）については、近年中に発効する見込みが高く、関税率の低下等が決定したことで、畜産だけでなく国内農業は極めて深刻な影響を受けることが懸念されている。食料自給率が40%の我が国にとっては、畜産物を含む食糧の安定的な供給の上でも、非常に重要な課題となっている。

家畜衛生面においては、国内ではPED（豚流行性下痢）が継続して発生しており、近隣諸国では口蹄疫、HPAI（高病原性鳥インフルエンザ）等の悪性伝染病が常時発生しており、引き続き大きな不安材料が存在している。

こうした情勢を背景に、国は昨年11月に総合的なTPP関連政策大綱を樹立し、各種施策の大幅な予算額の確保、畜産経営安定対策の法制化の準備を実施し、県は「食と緑の基本計画」の計画達成に向け、国の施策との総合的かつ計画的な調整により各種施策を推進している。

このような中、当協会は公益社団法人として3年目を迎えたが、会員団体や関係機関との有機的な連携を図り、公益目的事業1においては、子牛価格の高騰により肉用子牛生産者補給金は交付されない一方、肉用牛肥育経営安定特別対策においては、年間を通じて発動があり、月毎に補填金を交付する措置を続けてきた。

また、公益目的事業2においては、畜産経営面や家畜衛生面の指導、消費者への理解醸成を行なうとともに、公益目的事業3において、畜産経営体支援、家畜防疫支援を実施し、本県における畜産振興を図ってきた。

第2 会議及び人事関係等

1. 総 会

(1) 定時総会 平成27年6月26日（金）

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 平成26年度事業報告及び決算の承認に関する件

第2号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件

(2) 臨時総会 平成28年3月25日（金）

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得るとともに、2項目について報告した。

議事

報告事項 平成27年度収支予算補正に関する件

平成28年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件

- 第1号議案 会費規程の制定に関する件
- 第2号議案 平成28年度会費徴収に関する件
- 第3号議案 役員報酬に関する件
- 第4号議案 役員補欠選任に関する件

2. 理事会

(1) 第1回理事会 平成27年6月8日(月)

大津橋ビル5階中会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。また、1項目について提案し、同意を得るとともに5項目について報告した。

議事

- 第1号議案 平成26年度事業報告及び決算書類の承認に関する件
- 第2号議案 肉用子牛生産者補給金制度第5業務対象年間終了に伴う生産者積立金等残額の返還に関する件
- 第3号議案 肉用子牛生産者補給金制度第6業務対象年間における肉用子牛1頭あたりの負担金の額に関する件
- 第4号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正に関する件
- 第5号議案 家畜防疫互助事業業務方法書の一部改正に関する件
- 第6号議案 任期満了に伴う役員改選に関する件
- 第7号議案 平成27年度定時総会開催に関する件
- 報告事項
 - ①会員の名称変更
 - ②役員賠償責任保険の契約
 - ③高橋養鶏賞の選考
 - ④業務執行状況

(2) 第2回理事会 平成27年6月26日(金)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議案

- 第1号議案 代表理事及び業務執行理事等の選定に関する件

(3) 第3回理事会 平成27年12月3日(木)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議案

- 第1号議案 特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針及び取扱規程に関する件

(4) 第4回理事会 平成28年3月16日(木)

大津橋ビル5階中会議室において、業務執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに、1項目について報告した。

議事

- 報告事項 職務執行状況に関する件
- 第1号議案 平成27年度収支予算補正に関する件
- 第2号議案 平成28年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
- 第3号議案 平成28年度会費徴収に関する件
- 第4号議案 平成28年度歳計現金預入先に関する件
- 第5号議案 平成28年度一時借入金の最高限度額決定に関する件
- 第6号議案 役員報酬に関する件
- 第7号議案 平成28年度予防注射料金に関する件
- 第8号議案 諸規程の一部改正に関する件
- 第9号議案 会費規程の制定に関する件

- 第10号議案 役員の補欠選任に関する件
 第11号議案 臨時総会の招集に関する件

3. 監事会

定期監査 平成27年6月3日(水)

大津橋ビル5階小会議室において、平成26年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4. 役員の状況

区 分	本年度当初 (27年4月1日)	役員改選 (27年6月26日)	増 減		本年度末 (28年3月31日)
			辞 任	就 任	
理 事	9	9	1	1	9
監 事	3	2	0	0	3

(28年3月31日理事1名辞任、28年4月1日理事1名就任)

5. 会員の状況

年度当初会員数：20会員
 年度末会員数：20会員

6. 職員数 (平成28年3月31日現在)

職 員 6名(出向職員1名<>内) 嘱託職員 3名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営安定課	2 <1>	1	3 <1>
畜産振興課	2	2	4
総務管理課	1	—	1
計	6 <1>	3	9 <1>

7. 関係機関等の会議出席状況(県域以上)

年 月 日	場 所	会 議 名 等
27. 4. 21	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国推進会議
27. 5. 20	名 古 屋 市	畜産再興プラン東海ブロック会議
27. 5. 22	名 古 屋 市	東海地域生乳安全安心協議会
27. 5. 29	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会総会
27. 5. 31	名 古 屋 市	名古屋市獣医師会50周年記念式典
27. 6. 2	東 京 都	地域自衛防疫強化特別対策事業全国推進会議
27. 6. 3	豊 橋 市	農協畜産担当者連絡協議会
27. 6. 17	東 京 都	農場HACCP認証普及推進事業全国推進会議
27. 6. 19	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協会総会
27. 6. 25	東 京 都	一般社団法人全国肉用牛振興基金協会総会
27. 6. 26	名 古 屋 市	愛知県養豚農業協同組合通常総会
27. 6. 30	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養豚協会総会
27. 6. 30	名 古 屋 市	食料・農業・農村白書説明会
27. 6. 30	東 京 都	肉用子牛生産者補給金制度等業務推進会議
27. 7. 1	東 京 都	豚流行性下痢まん延防止体制強化事業対策委員会

年 月 日	場 所	会 議 名 等
27. 7. 2～3	石 川 県	畜産特別資金ブロック会議
27. 7. 7	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
27. 7. 9	岡 崎 市	愛知県家畜人工授精師協会総会
27. 7. 15～16	三 重 県	東海4県衛生ブロック会議
27. 7. 22	東 京 都	馬飼養衛生管理特別対策等全国会議
27. 7. 24	東 京 都	肉用牛経営安定対策補完事業関東北陸東海ブロック会議
27. 7. 27	岡 崎 市	愛知県酪農農業協同組合総会
27. 8. 24	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
27. 9. 1～2	名古屋・恵那市	東海地域飼料増産推進協議会
27. 9. 10	東 京 都	中央畜産会管理責任者事務処理従事者研修
27. 9. 11～12	奈 良 県	肉用子牛運営適正化事業北陸東海近畿ブロック会議
27. 9. 16	刈 谷 市	畜産フェスタ会議
27. 9. 29	東 京 都	肉用牛繁殖技術シンポジウム
27. 10. 1	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
27. 10. 6～7	名古屋・長久手	東海ブロック畜産協会連絡協議会
27. 10. 13	名 古 屋 市	東海地域飼料米生産拡大推進会議
27. 10. 17	名 古 屋 市	東海ブロックTPP意見交換会
27. 10. 31	刈 谷 市	畜産フェスタ(刈谷ハイウェイオアシス)
27. 11. 9～13	名 古 屋 市	農林3課会計検査
27. 11. 19	長 久 手 市	農林技術会議農業分科会
27. 12. 2	豊 橋 市	農協畜産担当者連絡協議会
27. 12. 2	名 古 屋 市	飼料米利用実証研修会
27. 12. 3	名 古 屋 市	養鶏協会中部協議会
27. 12. 4	東 京 都	畜産クラスター普及セミナー
27. 12. 9	岡 崎 市	T P P 農家説明会
27. 12. 23	名 古 屋 市	畜産フェア(名古屋競馬場)
28. 1. 8	名 古 屋 市	新農政時代ブロック説明会
28. 1. 25～26	東 京 都	肉用子牛生産者補給金制度業務研修会
28. 1. 27	東 京 都	畜産クラスター普及セミナー
28. 2. 1	東 京 都	地方会員活動支援推進委員会
28. 2. 8	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国推進会議
28. 2. 4～5	鹿 児 島 市	肉用子牛生産者補給金制度経理研修会
28. 2. 18	東 京 都	家畜防疫互助基金支援事業中央推進会議
28. 3. 4	東 京 都	地方会員活動支援推進事業全国会議
28. 3. 4	東 京 都	畜産クラスター関係事業説明会
28. 3. 7	東 京 都	豚流行性下痢まん延防止体制支援強化事業対策委員会
28. 3. 14	岡 崎 市	死亡牛処理推進協議会
28. 3. 28	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協理事会

第3 事業関係

1. 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等に係る状況の変化が、国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用子牛の価格が低落した場合や肥育経営の収益性が悪化した場合に補填金等を交付して、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構から生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

ただし、平成27年度は子牛価格の高騰により補給金交付の発動はなかった。

- ・ 推進会議等 2回 (平成27年5月26日、平成28年2月23日 岡崎市)
 - ・ 事務委託先団体調査指導 48日 延べ 48団体
 - ・ 平成27年1月～12月 個体登録頭数 8,861頭
(6ヶ月齢頭数)
- | | |
|---------|--------|
| ・ 肉専用種 | 961頭 |
| ・ 肉専その他 | 1頭 |
| ・ 交雑種 | 5,319頭 |
| ・ 乳用種 | 2,580頭 |

①生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 185者	内訳：個人経営 157者、組合法人 4者、会社法人 24者
------------	-------------------------------

②事務委託先

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(10)	あいち尾東農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③生産者積立金造成実績

【生産者積立金単価】登録日：6月齢－1日(積立は四半期毎)

(単位：円)

	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	550	550	1,100	2,200
	300	300	600	1,200
その他肉専用種	6,100	6,100	12,200	24,400
	3,100	3,100	6,200	12,400
交雑種	1,250	1,250	2,500	5,000
	600	600	1,200	2,400
乳用種	3,175	3,175	6,350	12,700
	1,600	1,600	3,200	6,400

注) 上段：H27.1～6の単価、下段：H27.7～H28.3の単価

(単位：円)

区分	造成額内訳			合計
	生産者負担金	県生産者積立助成金	機構生産者積立助成金	
黒毛和種	412,550	412,550	825,100	1,650,200
その他肉専用種	6,100	6,100	12,200	24,400
交雑種	5,123,850	5,123,850	10,247,700	20,495,400
乳用種	6,484,200	6,484,200	12,968,400	25,936,800
計	12,026,700	12,026,700	24,053,400	48,106,800

④生産者補給金交付実績

(単位：円)

区 分		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	計
黒	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
毛	金 額	0	0	0	0	0
他	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
肉	金 額	0	0	0	0	0
交	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
雑	金 額	0	0	0	0	0
乳	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
用	金 額	0	0	0	0	0
計	頭 数	0	0	0	0	0
	金 額	0	0	0	0	0

参考：発動基準

(単位：円)

	黒毛和種	その他肉専用種	交 雑 種	乳 用 種
保証基準価格	332,000	217,000	199,000	130,000
合理化目標価格	277,000	147,000	144,000	88,000

イ 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度における肉専用子牛飼育経営体への補完事業として、肉用専
用子牛の平均売買価格が発動基準を下回った場合に支援交付金を交付する事業であるが、
27年度は発動がなかった。

- ・推進会議等 2回（平成27年5月26日、平成28年2月23日 岡崎市）

参考：発動基準

(単位：円)

	黒毛和種	その他肉専用種
発動基準価格	420,000	280,000

ウ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛生産基盤の安定と拡大に資するため、肉用牛肥育経営で粗収益が生産費を下回る
収益性悪化時に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構補助金で造成した基金から、全国
統一算定単価での補填金を交付し、県内肉用牛肥育経営の安定を図った。

また、生産者の肥育牛の個体登録、およびその販売確認等の効率かつ円滑な推進を図る
ため、関係団体に一部の業務を委託して事業を実施した。

なお、肉用牛経営は配合飼料を始めとした各種資材の高騰により、依然、経営環境が厳
しい状況が続くため、引き続き四半期単位での補填業務を、月毎に交付する特例措置で行
った。

- ・推進会議等 2回（平成27年5月26日、平成28年2月23日 岡崎市）
- ・調査指導等 指導会延べ16団体、現地調査5者
- ・平成26年2月期～平成27年1月期 基金造成頭数 21,116 頭
肉専用種 3,038頭、交雑種 14,698頭、乳用種 3,380頭

①生産者補填金交付契約締結状況

契約生産者	228者	内訳：個人経営	182者	組合法人	3者	会社法人	43者
-------	------	---------	------	------	----	------	-----

②委託先契約締結状況

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③肉用牛肥育経営安定特別基金造成実績

【基金造成単価】

(単位：円)

	平成26年度			平成27年度			積立月 (達する月)
	生産者	機構	計	生産者	機構	計	
肉専用種	18,000	54,000	72,000	10,000	30,000	40,000	25ヵ月齢
交雑種	30,000	90,000	120,000	25,000	75,000	100,000	22ヵ月齢
乳用種	20,000	60,000	80,000	17,000	51,000	68,000	18ヵ月齢

(単位：円)

区分	造成額内訳		合計
	生産者積立金	機構補助金	
肉専用種	34,460,000	103,380,000	137,840,000
交雑種	378,050,000	1,134,150,000	1,512,200,000
乳用種	60,127,000	180,381,000	240,508,000
計	472,637,000	1,417,911,000	1,890,548,000

④肥育牛補填金交付実績

(単位：頭、円)

区分		H27.1月期精算	2月期	3月期	4月期	5月期
肉専用種	頭数	207	259	246	207	259
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
交雑種	頭数	1,086	1,178	1,287	1,347	1,117
	単価	3,800	3,200	0	0	0
	金額	4,126,800	3,769,600	0	0	0
乳用種	頭数	275	263	303	273	277
	単価	3,800	63,600	57,100	28,800	24,700
	金額	1,045,000	16,726,800	17,301,300	7,862,400	6,841,900
計	頭数	1,568	1,700	1,836	1,827	1,653
	うち交付	1,361	1,441	303	273	277
	金額	5,171,800	20,496,400	17,301,300	7,862,400	6,841,900

区分		6月期	7月期	8月期	9月期	10月期
肉 専 種	頭数	200	310	213	234	251
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,165	1,210	1,150	1,116	1,278
	単価	10,600	18,500	0	2,300	0
	金額	12,349,000	22,385,000	0	2,566,800	0
乳 用 種	頭数	293	301	323	295	252
	単価	12,900	0	0	0	0
	金額	3,779,700	0	0	0	0
計	頭数	1,658	1,821	1,686	1,645	1,781
	うち交付	1,458	1,210	0	1,116	0
	金額	16,128,700	22,385,000	0	2,566,800	0

区分		11月期	12月期	H28.1月期概算	H27.1精算～ H28.1月期概算の計
肉 専 種	頭数	291	468	169	3,314(内交付0)
	単価	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,333	1,596	1,021	15,884(内交付5,755)
	単価	0	0	0	—
	金額	0	0	0	45,197,200
乳 用 種	頭数	290	286	237	3,668(内交付1,684)
	単価	0	0	0	—
	金額	0	0	0	53,557,100
計	頭数	1,914	2,350	1,427	22,866
	うち交付	0	0	0	7,439
	金額	0	0	0	98,754,300

*2～1月期→4月～3月交付、H27.1月精算→H27.5月交付

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対して畜産物の理解を深めてもらい、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

① 地域畜産支援指導等体制強化（愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・(公社)中央畜産会(委託金・助成金)・図書斡旋収入)

- ・畜産経営支援に必要な指導を実施し、当協会のホームページを畜産ネットワーク(LIN)上に開設し、畜産経営に係る各種情報提供を逐一実施した。
- ・県域の家畜登録団体が実施する登録事業を支援し、県内の優良家畜生産に寄与した。：3団体
- ・県内の畜産団体と近況把握、情報共有のための連絡会議を実施、又は関係会議への出席により、各種情報を把握し、畜産経営支援の実施組織体制を強化した。
- ・家畜衛生体制強化を図るため、衛生体制強化基金事業を実施した。

- ・畜産経営支援に必要な各種調査を実施した。(敷料利用実態調査、先進的な経営体等の経営内容、おが粉代替敷料事例調査)
 - ・経営技術指導の一環として図書斡旋販売を実施した。
- ② 畜産特別資金推進指導 ((公社) 中央畜産会補助金)
- 畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行うとともに、県協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。
- ・現地検討会・指導会の実施 延べ10回125人(田原市)
対象：酪農家 1戸(大家畜経営改善支援資金)
肉牛農家1戸(畜産経営維持緊急支援資金)
 - ・愛知県畜産経営改善推進協議会の開催1回(平成28年3月7日 名古屋市)
- ③ 畜産近代化リース貸付指導 ((公財) 畜産近代化リース協会委託金)
- 畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。
- ・調査指導件数 12戸、12基 (H27.12月～H28.3月)
(半田市1戸、岡崎市1戸、西尾市1戸、新城市1戸、設楽町2戸、豊橋市4戸、田原市2戸)
 - ・普及啓発資料作成 400部
- ④ 畜産クラスター機械導入体制強化 ((公社) 中央畜産会委託金)
- 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)の機械導入事業の県域窓口団体として、全国会議に出席するとともに、事業推進会議の開催、事業参加要望書の取りまとめ等を行った。
- ・参加要望件数 15協議会、89戸、116件 867,573千円
- ⑤ 畜産団体調整機能強化 ((公社) 中央畜産会委託金)
- 畜産経営を取り巻く情勢が厳しさを増す中で、将来にわたり本県の畜産を担う生産者を参集し、TPPを踏まえた畜産業界への影響及び農業者向けの融資を題材に、将来的な畜産への展望について意見交換を実施した。
- ・懇談会・意見交換会等の開催 1回(平成28年3月22日)
懇談会テーマ：激動する畜産業界の今後
講演：(株)農林中金総合研究所
「農業を取り巻く環境及びTPPを踏まえた畜産業界への影響」
講演：愛知県信用農業協同組合連合会
「JA愛知信連が取り扱う農業者向けの融資について」
意見交換参加者：生産者9名、情報提供者2名、県・団体関係者7名、畜産コンサルタント 1名 計19名
- ⑥ 農場HACCP認証支援地域強化促進 ((公社) 中央畜産会委託金)
- 地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知など、農場HACCP認証の広範勝加速的な普及を図った。
- ・農場HACCP認証普及推進会議の開催：2回(28名)
平成27年11月30日 岡崎市、平成28年 1月28日 新城市
- ⑦ 自衛防疫体制強化推進 (家畜衛生対策推進協議会委託金)
- 伝染性疾病発生時の防疫対応等を支援するため、防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取組の徹底、啓発等を行い、地域自衛防疫体制の強化・定着を図った。

- ・地域自衛防疫体制強化推進会議の開催 2回(51名) 平成27年9月4日 岡崎市
平成28年3月8日 名古屋市
- ・県域防疫演習 1回 平成27年9月4日：県と共催 200名 岡崎市
「鳥インフルエンザ・口蹄疫県域防疫研修会」
講演：岡山県で発生した高病原性鳥インフルエンザについて
講師：岡山県井笠家畜保健衛生所
- ・地域防疫演習 4回 平成27年 9月 8日 養鶏組合と共催 高浜市 28名
平成27年10月19日 養豚団地と共催 田原市 16名
平成27年11月26日 養鶏農協と共催 半田市 25名
平成28年 3月 1日 家保と共催 碧南市 13名

⑧ 豚流行性下痢まん延防止体制支援強化 ((公社) 中央畜産会委託金)

地域の状況に応じた効果的な防疫指導として、地域一体となった消毒、予防接種の励行等の検討及び研修会を実施するとともに、予防説種痘を実施する繁殖豚農場を対象に、獣医師による衛生管理点検指導、衛生状況の確認を実施した。

- ・PED地域対応推進対策会議 3回 平成27年 7月 6日 豊橋市 18名
平成27年 7月23日 田原市 60名
平成27年 7月24日 岡崎市 67名
- ・PEDまん延防止衛生指導対策 参加獣医師 12名、7施設
農場数及び指導回数 52農場、延べ230回

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

① 馬飼養衛生管理特別対策 ((公社) 中央畜産会委託金)

馬の防疫体制確立に向け、関係者・関係機関と連携して委員会及び講習会を開催するとともに、競走馬以外の馬の地域馬獣医療体制の実態を把握するための実態調査を実施した。

- ・地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回
平成27年12月14日 名古屋市 10名
- ・馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催 1回
平成27年12月14日 名古屋市 21名
講演：日常遭遇する馬の疾病と予防対策について
講師：日本中央競馬会六本木事務所馬事防疫課
- ・地域馬獣医療実態調査 回答25施設／調査33施設

② 在来馬等馬伝染性貧血清浄化推進 ((公社) 中央畜産会委託金)

馬伝染性貧血の清浄化を推進するため、在来馬等の実態調査を踏まえ検討会を開催した。

- ・馬伝染性貧血清浄化地域推進検討会の開催 1回
平成27年10月 2日 名古屋市 10名

ウ 畜産物に関する理解情勢・情報提供

① 畜産物に関する理解情勢・情報提供 (名古屋競馬株式会社補助金)

畜産物の生産者と消費者が直接交流する場や、消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、試食会・啓発資料配布を実施する畜産フェスタや県内畜産物の品質や安全性に関する啓発により、畜産物消費を促進する畜産フェア等の開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供や適切なアドバイスを実施した。

(参考)

- ・畜産フェスタの開催

期 日：平成27年10月31日

開催場所：刈谷市（刈谷ハイウェイオアシス）

畜産物の配布：牛乳入りパン、コーチン・キーマカレー、ハチミツ、
燻製うずら卵

・畜産フェアの開催

期 日：平成27年12月23日

開催場所：名古屋市（名古屋競馬場）

畜産物の配布：名古屋コーチンカレーと燻製うずら卵のセット(350)
全酪6Pチーズと燻製うずら卵のセット(360)
スモークチーズと燻製うずら卵のセット(360)

エ 畜産に関する表彰事業

① 高橋養鶏賞顕彰事業基金

高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。

- ・高橋養鶏賞選考委員会 平成27年5月27日
- ・第40回高橋養鶏賞受賞者 花田和之氏（普及部門）
- ・高橋養鶏賞表彰式 平成27年6月26日

② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰

家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。

- ・4団体催事：賞状6点、副賞5点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

厳しさの増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続できる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

① 地域における肉用牛生産基盤強化等対策（（独）農畜産業振興機構補助金）

肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付するとともに、中山間地域の肉用牛生産基盤の維持の一翼を担っている肉用牛ヘルパー組織への支援を実施した。

- ・増頭奨励金交付対象頭数 186頭
（JA 愛知東88頭、JA あいち三河5頭、JA あいち知多39頭、愛知県酪農協4頭、配飼協50頭）
- ・支援対象肉用牛ヘルパー利用組合 1組合
（愛知東農業協同組合：肉用牛ヘルパー利用組合）
実績・・・飼養管理 1戸 のべ54日
家畜市場関係（市場内引回し等）339頭

イ 家畜防疫支援に関する事業

① 家畜生産農場清浄化支援（農林水産省補助金及び手数料）

慢性疾病の清浄化対策とアカバネ病等異常産の発生・流行の防止対策を推進するとともに、自衛防疫推進のための会議と講習会等を実施した。

また、補完的に当協会独自の衛生事業も実施した。

- ・ヨーネ病防疫推進会議の開催 1回 平成28年2月24日 岡崎市 12名
- ・ヨーネ病防疫推進講習会の開催 1回 平成28年2月24日 岡崎市 22名
- ・ヨーネ病検査 3農場 123頭
- ・牛白血病防疫推進会議の開催 2回 平成28年5月14日 岡崎市 12名
平成28年2月24日 岡崎市 15名
- ・牛白血病防疫推進講習会の開催 1回 平成28年2月24日 岡崎市 22名
- ・牛白血病検査 38農場 1,099頭
- ・オーエスキー病清浄化対策（オーエスキー病清浄種豚流通促進対策）
対象農家戸数 2戸（新城市、田原市）
抗体検査頭数 827頭
- ・農場飼養衛生管理強化対策
飼養衛生管理強化推進講習会の開催 2回 平成27年12月21日 豊橋市 5名
平成28年 2月12日 豊橋市 51名
飼養衛生管理強化のための農場指導 4診療施設 83戸
- ・ワクチン接種技術検討会の開催 2回 平成27年7月10日 名古屋市 13名
平成28年3月19日 名古屋市 19名
- ・伝染病予防ワクチン接種状況 牛 計 5,946頭
 - ・牛異常産三種混合ワクチン 2,602頭
 - ・アカバネ病単味ワクチン 3,344頭
- ・協会独自事業(家畜衛生事業)
 - ・予防ワクチン接種事業 牛 計 38,355頭
 - ・イバラキ病生ワクチン 6,834頭
 - ・伝染性鼻気管炎ワクチン(IBR) 2,433頭
 - ・牛五種混合生ワクチン 8,727頭
 - ・牛五種混合不活化ワクチン 1,511頭
 - ・牛六種混合ワクチン 6,362頭
 - ・ボツリヌスワクチン 12,488頭

② 家畜防疫互助基金造成等支援 ((独) 農畜産業振興機構補助金)

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成して、万が一の疾病発生時への影響緩和に備えた。

【加入状況】

(H28. 3. 31現在)

家畜種類	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	106	11,133	2,367,195
肉用牛	151	28,383	3,112,090
牛 計	214 (うち乳肉43)	39,516	5,479,285
豚	92	177,702	7,090,160
合 計	306	217,218	12,569,445

【加入率】

	乳用牛		肉用牛		豚	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	355	27,200	365	44,100	219	349,900
契 約	106	11,113	151	28,383	92	177,702
加 入 率	30 %	41 %	41 %	64 %	42 %	51 %

事業推進会議等の開催 2回

平成27年6月26日 名古屋市 9名

平成28年3月 8日 名古屋市 30名

③ 海外悪性伝染病対策支援（自己資金）

海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。

- ・対象家畜：牛、豚
- ・対象疾病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ等

④ 馬伝染性疾病防疫推進対策（(公社)中央畜産会委託金）

地域における自主防疫活動の強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種推進及び馬飼養衛生状況の普及啓発等を推進した。

- ・馬ワクチン接種等検討会の開催 2回 平成27年10月 2日 名古屋市 10名
平成27年12月14日 名古屋市 10名
- ・馬インフルエンザワクチン接種推進
対象施設 11施設、 113頭(乗用馬)

2 収益事業

(1) 収1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分（面積比）により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した。

3 その他事業

(1) 他1 畜産関係団体の事務局を運営する事業

ア 愛知県和牛改良協会の事務局

公益社団法人全国和牛登録協会の地方審査員の資格をもつ当協会の職員が、専門知識を発揮するとともに中心となって、業務受託により協会の事務局を運営した。